アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.172/2021 年 5 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第172号をお届けします.

【１】 一種研開催報告

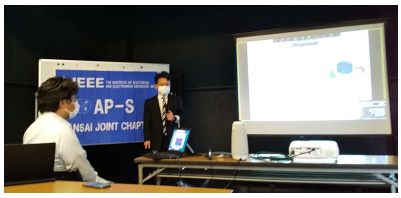
2021年4月の一種研を4月16日にハイブリッド方式で開催しました. 2020年の3月4月および5月の3回は中止に追い込まれ, その後もほとんどオンライン開催となりました. 2021年度（今年度）に入り, 初回は何とかハイブリッドで開催できました.

4 月一種研＠城崎・HYB 開催

[4月一種研]

現地会場を城崎国際アートセンターに設置しました. 音響設備が整っており, オンライン発表者と現地参加者との間で活発な議論が交わされました.

一般公演7件, チュートリアル講演1件でした. チュートリアル講演では, 情報通信機構の三浦周氏より, 次世代ハイスループット衛生関連の講演をいただきました. 興味深い多様なユースケースを紹介いただきました. また, IEEE AP-S Kansai Joint Chapter 特別講演として, 大阪電通大の海老原聡先生より, 地中物体の位置推定に関する講演をいただきました. ダイポールアンテナで地中の物体を3次元的に推定するという大変興味深い技術を紹介いただきました.



4 月　海老原聡先生特別講演

[5月一種研]

5月21日にオンラインで開催しました. 一般公演9件, チュートリアル講演1件でした. チュートリアル講演では, 東京都市大の平野拓一先生より有限要素法による電磁界シミュレーションの基礎について講演いただき, 他の解析主要との違いなど丁寧に解説いただきました.

また, IEEE AP-S Tokyo Chapter 特別講演として, 情報通信機構の寳迫巌様よりBeyond 5G/6Gに向けた研究開発動向について講演いただきました. まだまだつかみきれない次世代通信技術の動向についての壮大な解説をいただきました.

【２】AP研執行部退任者の挨拶

2020年度のAP研執行部は下記の体制でした.

委員長：陳 強（東北大学）　　副委員長：黒川 悟（産業技術総合研究所）
幹事：有馬卓司（東京農工大学), 北尾光司郎（NTTドコモ）
幹事補佐：金ミンソク（新潟大学）

2021年6月から新体制になりますが, 新体制は次号で紹介することとし, 今回は退任される方々のご挨拶をお送りします.

[陳 委員長]

このたび, アンテナ・伝播研究専門委員長を退任となりました. 2年間の在任中, 至らぬ点も多くあったと思いますが, 皆様のお力添えにより任期を終えることができました. この場を借りて皆様に心より御礼を申し上げます. 誠にありがとうございました.

在任期間中に,「若手の育成」,「異分野の融合」及び「企業との連携」を掲げ, 企業・学生交流セッション, フレッシュドクターセッションの実施を始めました. また, コロナ禍で活性低下のないように, AP研究会, ワークショップ, 講演会の開催形態を探りながら地域分散型, ハイブリッド型の試行を行ってきました.

今後は山田委員長による新執行部体制で，アフターコロナを見据えた活力の溢れる研究会となっていくと確信しております．引き続きAP研に変わらぬご愛顧賜りますようお願い申し上げます．

［黒川 副委員長］

2019年6月から２年間，副委員長を務めました．任期途中の2020年３月以降は，新型コロナウイルスの世界的な蔓延により，通常の対面式研究会が実施できなくなり，学会活動として初めて，オンラインでの研究会の実施となり，2021年５月現在も続いています．

オンラインでの研究会，オンラインでのセミナーの実施は，関係の方々にお会いできなくなった残念さはありますが，今まで参加や聴講のために会場に来ることが困難だった方々にも，気軽に参加できる環境を提供できたことは，大きな収穫だったと感じています．

AP分野に興味のある方々の，研究会への参加のハードルが下がったのではないかと感じました．今後数年は，コロナと付き合いながらの研究会運営，セミナー開催，国際会議開催が当たり前となっていくと感じています．

今後２年間，国際委員長を務めることになりましたので，主に海外２種研究会のWithコロナ環境での開催方法を探りながらの研究会実現に皆様に協力いただきながら取り組んでいきたいと思います．

２年間，副委員長としての役割を十分に果たしていないとのお叱りを受けると思うことが多くありますが，今後もAPに関連する分野の発展に，皆様とともに寄与していきたいと考えております．２年間ありがとうございました．

［有馬 幹事］

コロナ禍吹き荒れる中での退任です．コロナ禍の中で幹事を務め，感じたことを率直に述べると，A・P研に関わっておられる皆様は非常に優秀かつ積極的という事でした．おかげで，まったく困ること無くコロナ禍を乗り切り，無事に幹事を2年間務め上げることが出来ました．アンテナコンペ，企業学生交流イベント，ハイブリッド研究会等色々な事に関われたことも幸せでした．幹事を務めた2年の間，トラブルなど困った事は数えきれないほどあり，箸が転がるだけで爆笑できる私は，本当に楽しく過ごしました．ここで得た経験は一生の宝物で大事にしていきたいと思います．コロナ禍の後の研究会の姿は大きく変わると思います．そこで，A・P研がどのような姿を魅せるかが重要と考えており，幹事退任後もぜひA・P研に関わり続け，先駆的な事が出来ればと思っております．本当に皆様ありがとうございました．

【３】 副委員長の戯言

4月研究会参加のため，城崎に出張しました．2020年度の出張はISAP2020関連で大阪まで2回出張したのみで，大阪以外の地域に出張したのは1年2か月ぶりです．ハイブリッド開催とはいえ，現地参加の方々と対面でディスカッションするのが，こんなにも意思疎通が容易であり貴重であることに改めて気づかされました．

また，夜の温泉街をそぞろ歩くのもまた風情がありました．ただ，関西方面もコロナ感染者が急増した時期であり，飲食店は夕方早々と閉店し夕食場所に困る状態でした．早くコロナが終息し，海外を含め，対面で楽しく学会参加できる日が来るのを願うばかりです．なお，城崎にて，お店で飲めないので，その後どうなったかはご想像にお任せします．

「AP研からのおしらせ」を久しぶりに発行しました．なぜ，久しぶりなのか(？)ということはあまり詮索しないでください(笑)．今後は，毎月発行する予定ですが，なーんにもお知らせがないときは，また休刊するかもしれません．

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長(6月より)　藤元美俊（福井大学）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/